

# 大事協だより

大島地区公立小・中学校事務職員協会 研修部  
第24号 2009年2月20日発行(No.1)

新しい年を迎え、今年も、皆様と一緒に歩んでいきたい  
と思います。よろしくお祈りします。

## <平成20年度第三回執行部会報告>

大島地区小中学校事務職員協会執行部会が平成21年2月6日(金)に奄美市で開催されました。

2月25日に開催予定の理事会に向けて、活動経過報告や来年度の活動計画について話し合いました。

年度末・年度始めを迎え、お忙しい中ですが、来年度の大事協もスムーズに活動できるよう、各市町村理事の方々を中心に引き継ぎの方もよろしくお祈りします。

また、第三次県費事務改善検討委員会が取り組んできました「諸手当認定・電算マニュアル等CD」配布も2月中に予定しております。

こちらの確認もよろしくお祈りします。

## <県事協からのお知らせ>

### ○「県事協だより」について○

「県事協だより」は、各市町村理事を通じてメール又は、郵送で届けております。各市町村理事の方は、会員への配布をお願いします。

現在、NO. 51 2009年1月25日号まで発行済みです。届いていない場合は、円小学校・松久保まで連絡をお願いします。

### ○CDの整理をお願いします○

「県事協だよりNO.45 2008年3月13日号」でお知らせしていますが、これまで県事協が作成し、学校で活用されているCDについての整理をお願いします。

今後も改定されていきますので、**最新のものをご確認ください。旧バージョンは廃棄してください。**

最新バージョンは、次の通りです。

- ①県旅行起点表('06年7月現在)
- ②福利厚生関係様式記入例集('08年1月現在…HP参照)
- ③県費事務実務手引書('06年11月現在)
- ④諸手当認定・電算マニュアル('07年11月現在)
- ⑤旅費検索システム('08年1月現在)

☆各学校で活用中に訂正等生じましたら、訂正箇所については、戸円小・泉まで、メール等文書で連絡ください。

冬のパイナップル！  
哇フルーツガーデン(徳之島町)で見つけました。



近隣公園(徳之島町)に咲いている緋寒桜です。桜1本1本に持ち主がいて大切に育てています。



## <各地区からのたより>

今回の原稿は、与論町から届きました。ありがとうございました。次号は、来年度6月発行予定です。

原稿は、知名町へお願いいたします。

各市町村の研修会での様子、様々な取り組み、写真、趣味等の原稿もお待ちしています。



### ○与論町事務職員研修会について○

与論町立那間小学校 内倉 義人

本町では「事務室機能」を研究テーマに年間13回の研修を行っている。町費事務における当初予算要求書作成や6,9,12,3月要求補正、備品監査時の情報交換、

県費における年度末年度初めの事務処理の確認と赴任旅費や年末調整の事前審査は円滑な事務処理を進める上で重要である。

特徴的なものは「町教委事務局との合同研修会」を実施しているが、事務レベルでの改善を協議する場としての役割を担っている。

福利厚生事務の研修の資料は、用意しても研修時間が取れずに終わってしまうので、これをどうするかが今後の課題である。

これとは別に、認定事務担当者会を4,6,3月と事例発生時に随時開催している。中でも地理的条件から、単身赴任手当認定額の境目前後の場合が多く発生しているため細心の注意を払っている。

男だけ4人だが、歓・送迎会、納涼会、忘年会、新年会と機会を見つけては負担にならない程度に、相互の意思疎通を図っている。



## 映画の感想が届きました。

「ガチボーイ」快い感泣きを

伊仙町立鹿浦小学校 久保芳則

今年3月、鹿児島県の映画館でしっかりした選択なしに、唐突にこの映画のチケットを購入してしまった。大学のプロレス研究会の物語だった。ミスったかなあ、と観ていたら、小泉徳宏監督の力量のなせる技で、

どんでん引き込まれて、ラストシーンでは不覚にも感泣してしまった。笑って泣いて、そして元気を貰った儲けもん映画になってしまった。

ストーリーは、主人公の五十嵐は、司法試験も合格できる天才と言われていた。去年の学園祭での学生プロレスに感動、そして淡い恋心からプロレス研究会に入る。彼は、何でもメモをする。彼は、ある事故で、それ以降のことは記憶できなくなってしまう。また、その日のことは、一晩眠ると昨日の出来

事を忘れてしまう「高次脳機能障害」だったのである。プロレスのセオリーをいくら仲間たちが教えても、それを忘れて、ガチ、つまりガチンコ(本気勝負)になってしまう。でも、佐藤隆太演じるガリガリの体で、筋肉隆々の相手に不器用に立ち向かう姿が、人気者になっていく。そして、リングネームは「マリリン仮面」なのだ。



(裏面へ続く。)





「記憶は一日しか残らない。しかし、体の痛み、アザは残っている。」が、実に切ないが、笑い、泣く嬉しい青春ドラマだ。親子の絆、仲間との友情、淡く切ない恋愛。そして感動の学園祭で、最後の試合のラストシーンへ。

監督は、弱冠27歳。この種の日本映画は、少し説教滲みだた話が多いと思うのだが、コメディをベースにエンターテイメントを忘れず、演出は実に素晴らしい。すでに、ビデオレンタルされており、プロレスの好きな人も、嫌いな人も、是非観てほしい映画です。

それにしても、映画館で涙を流して、映画館を後にするのは、何とも清々しい気持ちにさせる。毎度だが、少し、優しい人間になれたような気分させてくれる。

涙を流すことは、恥ずかしい、男らしくないと何時の頃からか思い始めていやしないか。確かに女々しい、と言われたことを深く記憶している。

最後に素敵な格言を紹介して今回は、短めの映画紹介にしましょう。

「石鹸は体のため、涙は心のため」

何とも心に滲みる格言と思っているのだが、人は、石鹸で体を洗い、涙で心を洗うと説くのだが。泣くのを恥ずかしがる者は、喜ぶときも、本当に喜んでいない、造って装っているのではなからうか。

泣くときは、泣かねばならない。

人のため、自分のために。

P.S.11月に6本の映画を見ることができた。

満足できる良い作品だった。

- ◎レッドクリフ(すごい映画。必見)
- ◎おくりびと(映画って良いな。感動)
- ◎ブーリン家の姉妹(女はタフ。)
- ◎容疑者Xの献身(本と比較を。)
- ◎まぼろしの邪馬台国(小百合さんは、美しい。)
- ◎P.S.アイラブユー(観ても良いかも)

久保先生、たくさんの映画感想  
ありがとうございました。  
3月に定年退職をお迎えになるのは、  
とても寂しいです。  
また、いつか、続編をお待ちしています。



**新規採用者8名の先生方の声です。**



龍郷町立大勝小学校 畑山 てるの

10月10日 期限付事務職員として勤務する事になり、早四ヶ月たとうとしております。初めての学校事務職に引継が一日だけ? 校長先生にご挨拶に行く。「学校では事務職員の方も先生と呼ばれますので...」と言われ、私が先生!!!? え...っ!!みたいな。とにかく せっかく採用いただいたお仕事キバルのみ。と思い頑張ってきました。されど次から次へと課題が与えられ、先輩事務職員の方々に「ある意味、良い時にきたね」と言われ苦笑いをしました。未だに猛勉強中の私しております。でも本当に忙しい時期にまったくの素人相手に色々教えていただき、アドバイスしてもらい、なおかつ、ほとんど我が校に足を運んでいただき、感謝、感謝しております。

今まで、保護者・PTA側から見てきた学校と実際、現場に入ってから学校の見方が、色々な意味で変わりました。子供達も凄く可愛いです。

一言で言うと<学校はやっぱりいい>ですね。一つ一つに新鮮さがあります。

この気持ちを大切にこれからもっと頑張っていきたいと思えます。先輩事務職員の先生方、ご指導の程宜しく願いいたします。



<一年間を振り返って>

徳之島町立亀徳小学校 白石 由香

新規採用の事務職員として徳之島の小学校への赴任が決まり、驚いた日のことがつこの間のできごとのように感じるほど、この一年はあっという間でした。

赴任当初は右も左も分からず、不安と焦りでいっぱいでしたが、先輩の事務の先生方や周りの方々に支えていただいたおかげで何事も前向きに考えられるようになりました。子どもたちの存在もとても大きく、一緒にいることが楽しくて笑顔にいつも癒されています。この子たちのために仕事を通してのことはもちろんのこと、生活の中でも私にできることは力になっていきたいです。

私は徳之島で多くの貴重な出会いや経験をさせていただきました。どんなSOSにも温かく手を差し伸べて下さり、支え励まして下さる方に多く恵まれたことは、本当に幸せなことであり、感謝の気持ちでいっぱいです。一緒にいることが当たり前だった家族や友人とも離れて過ごして、改めて大切な存在だということにも気づくことができ、ゆっくり大自然と向き合い、その美しさに感動する時間を持つこともできました。事務職員としてのスタートをここで学ぶことができうれしく思います。これからも日々多くのことを経験し、成長していきたいです。



<今年一年間を振り返って>

天城町立北中学校 飯伏 良太郎

新規採用事務職員として一年間を振り返って、本当に周りの方々にお世話になった一年間でありました。赴任当初、右も左も分からなかった私にいろいろと声をかけていただき、とても心強く仕事を始めていくことができました。その後も電話等で頼りっぱなしでありました。

また、いろいろな研修会を通して、たくさんの方々にお会いして、勉強になる話や楽しい話をたくさん聞くことができて、研修会を楽しみに毎日の仕事に臨んで参りました。

そのような一年間を通して、学校事務職員として働けて良かったと思うとともに、先輩方のような事務職員になれるのだろうか、もっと勉強しなくてはならないと思う一年間でもありました。

来年は、今年の経験を活かし、早く一人前の事務職員として学校の役に立てるように努力していきたいと思えます。

今後ともお世話になりますが、宜しくお願いします



＜新規採用事務職員としての1年を振り返って＞

天城町立兼久小学校 内菌 真子

兼久小学校に赴任して早くも、1年が経とうとしています。4月に赴任したばかりの頃はわからないことばかりで、不安な毎日でした。しかし、事務職員の先輩方が非常に優しく丁寧に教えてくださり仕事にも徐々に慣れてきました。

また事務職員としての仕事ばかりでなく島の素晴らしさも教えていただいています。夏には板根を見に連れて行ってもらったり、与論島へ交流に行ったり非常に楽しい思い出を作ることも出来ました。現在、三味線を教わっています。始めは徳之島の慣れない環境に戸惑うばかりでしたが、今では徳之島が大好きになりました。

これから悩むこともあると思いますが、「子どもたちのために」という思いを忘れずに日々精進していきたいと思いますが、これからも迷惑をかけることは多々あると思いますが、一所懸命に頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。



和泊町立和泊中学校 坂井 仁栄

事務職員。今まで私の人生の中で考えたことのないフレーズでした。教育事務所から連絡があった瞬間戸惑いましたが学校で働けるのならと考え思い切って「よろしく願いします」と返事をしました。次の日から働いていた居酒屋を辞め、車を買ひ、沖永良部に出発する準備を進めました。着任後1ヶ月はほぼ記憶がありませんがとにかく必死に動いていました。学校の中で様々な場面で必要とされる事務職員。その事務職員をこんな自分がしているのだろうか。毎日そんなことを考えていた年度当初。そんな私を気遣い周りの先生方や地域の方々声がかけてくださったり、

飲みに誘っていただいたりしたおかげで少しずつ自分の今の様子を客観視できる余裕ができました。そこで改めて気付くのがいかに自分が恵まれた環境で生活しているかということです。本当に私は幸せ者だと思います。感謝感謝の毎日です。この感謝の気持ち、初心を忘れることなく生徒のため、職員のために頑張っていきたいと思います。



＜新規採用事務職員として＞

和泊町立内城小学校 中村 美穂

4月に新規採用職員として内城小学校に赴任して8ヶ月が経ちました。着任以来たくさんの方々を支えられてきましたが、特に仕事面に関して、同じ町内の事務の先生方には大変お世話になりました。お忙しい中、年度当初の諸手当認定事務から旅費・給与事務、町費処理まで丁寧に教えてくださり、非常にありがたかったです。教えていただく中で私が感じた事は、どの先生方も「どうすれば児童・生徒の教育活動を円滑に進められるだろうか。」と常に考えていらして、そのために様々な工夫をなさっているということです。先生方の仕事に対する姿勢を見るたびに、私も、先を見通す力や学校全体を見る広い視野、様々なアイデアを生み出し形にしていって創造力を持ちたいと思っています。

新規採用職員としての1年もあり3ヶ月になりました。やるべきことはたくさんありますが、来年度のためにこれだけはしたいと思うことがあります。それは、事務室の書類の整理と備品の整理です。2つのことをやり、事務職員にとっても他の教職員にとっても見やすく分かりやすい事務室にして、児童の教育活動の円滑な運営に少しでも貢献できるようにしたいです。



＜1年を振り返って＞

知名町立下平川小学校 須貝 明子

学校事務職員として採用され、下平川小学校に勤務してから早くも9ヶ月が過ぎました。これまでのことを自分なりに振り返ってみると、赴任当初から今日まで、目の前にある仕事をただひたすらにこなしていくので精一杯であった、というのが正直な気持ちです。

知識もない、資格もない、何も持っていない状態で事務室に、事務職員の世界に入り、4月当初は訳が分からずあたふたするばかりでした。そんななか、町内の事務職員の先輩方に多くを教わり助けていただき、学校の職員や同期の存在に支えられながら今日まで仕事をこなしてこられたと思います。

この9ヶ月は、常に誰かを頼りながら仕事をしてきました。それはこの先もまだ続くかもしれません。ですが少しでも早く、頼りになる・学校現場に必要とされる事務職員になれるように今は諸先輩方のいいところを盗み、常に学習する気持ちを忘れずに今後も仕事に取り組んでいきたいです。



与論町立与論小学校 樋木 康紘

鹿児島県最南端の島である与論島に赴任し、ようやく1年が過ぎようとしています。赴任前に抱いていたさまざまな不安も、今ではすっかりと忘れてしまい、学校生活や島での生活を楽しんでいます。これまで勤務してきて、事務職員は、とても自由度の高い仕事であると感じています。もちろん、きめられた事務処理を適切に行った上でということですが。私自身はスポーツ少年団指導など、他では得られない貴重な経験をいろいろとさせて頂いております。また町内行事等を通して、子どもたちや保護者をはじめとする地域の方々、島内の先生方など、さまざまな方々と仲良くさせて頂いております。それもこれも、町内の事務職員の先輩方が、学校事務について微細にわたってご指導下さり、私に余裕をつくって下さるおかげであると思っています。

これからも絶えず自己研鑽に励み、学校に欠かせない職員となることのできるよう努力していきたいと思っています。



定年退職を迎える先生方からの声です。



＜33年を振り返って＞

奄美市立東城小学校 森 繁治

早いものであつという間に33年が経過し退職をすることになりました。

昭和51年4月1日現在でこの職に就きました。

最初の給料の校内控除は周りの事務の先輩がやってくれましたが、5月からは自分でやってみると言われて――

ソロバンで（電卓は高価で手に入らない）パチパチやってみると、5回計算したら5回とも答えが違って、ほとほと参ったのを覚えています。

瀬戸内町にいた頃は、資金前渡制の町費の精算に苦勞したこと等、苦勞したことばかりが、頭に浮かびます。

退職後は、畑遊びで第2の人生となります。月わずかの年金生活になりますので、海で魚を獲り、川でタナガやうなぎを獲ってタンパク源と野菜は自給自足を考えています。長い間お世話になりました。

皆様のご健康とご健闘をお祈りします。





<定年を迎えて>

伊仙町立鹿浦小学校 久保 芳則

新採時の下宿先への今年の年賀状に「あの時の22歳の青年は60歳です」と書きました。あれから38年間の時空は様々の思い出に満ちた、それなりに長い経験の筈であるが、アツという間に過ぎたような気がします。新採時の懐かしくも少し苦い思い出を列挙すると月毎の給与、追給、年末調整等の計算ができない。つまりソロバンができないのである。母に前借りして給料約1ヶ月分で電卓を購入した。でも悪戦苦闘、年調は夜遅くまで給与台帳を計算した泣きたいような情けないようなあの思い。給料日にバイクに積んだ現金入りのバッグを落としたことに帰校後に気づき、慌てて探して見つかったこと等多くの失敗事。今の新採用者には決して聞かせられるものではない。

赴任したものの、下宿先が決まらずに校長宅へ1週間ほどお世話になった。その時の池口 晃校長には本当に有り難く感謝している。彼の口癖は「学校は子供が主役」だった。事務職員としての学校事務、日ごろの子供との触れ合い、そして参加していたクラブ活動等常に意識していたと言いはし難い、むしろ自分も楽しんだ部分が大いなのである。その後ただ若いという理由だけで参加を要請された中学校卓球部の顧問。教員のまね事をした28年間だった。未熟であつたけれども、池口校長の「子どもが主役」は意識の下に常に存在した。私の言い方は「部活は思い出づくり」という表現だったけれども。

今、正直に語れるのは卓球部の生徒に貰った私自身の「思い出づくり」に昇華した事です。そして当時は私が指導しての結果で勝ったとの思い、あの傲慢さは隠しきれないが、今はあのセンスのある生徒達との巡り合わせで全中始め様々な大会に参加できた素直に思える。卓球で共に汗を流し、頑張った生徒達が社会の主役で頑張っている。これは実に嬉しく有り難い。

小学校2校、中学校5校の38年間の勤務を終了しようとしている。転勤先について当時の感覚として満足できるものは無かったと思ひ出される。特に吉野中学校は規模は生徒数1,900名、職員数65名程度で自宅からも遠くなり不満だった。しかし当時の私は35歳と若く、仕事の方も馬力があり、卓球の指導も軌道に乗り、実際に指導上とても魅力的な生徒に多く恵まれた。現在においても一番交流が続いているのは吉野中時の生徒が多い。

そして次は種子島の国上中学校だった。思うこともあつたけれども2歳～8歳の4名の子供と家族6人の生活は人生で一番ファンタスティックだった。それは美しい海が家から近く、何時でも楽しめた。釣り、貝取りは手軽で、懐かしく思ひ出される。子供の好きなクワガタムシは身近な友達だった。その家の風呂は五右衛門風呂で薪が原料だった。お風呂をマッチ1本で沸かすことは私の密かな楽しみ、達成感を満たすものだった。

7校を転勤したがその全てが自身の年齢と経験とが全てマッチしているかのように思えてならない。

想ひ出は今後更に醸成されるかも知れない。それは亀井勝一郎「歳月は慈悲を生ずる」だけでは無さそうに想うのだけれど。

さて今後のことを思うと率直に生きる覚悟も自信も湧いてこない。経済的なことはどうにかなるだろうと楽観視できるのに。「残された時間はそれほど多くないぞ」「なにを生きがいにするのだ」と自問が少し重く、私を悲観、狼狽させてしまう。

人は趣味、ボランティア等に楽しみを持って生きていくと簡単に言うのだけれど。脳天気な私はすっかり物思ふ人になっている。全く笑えるのだけれども。長いこと働いた、残りの人生だって思うほどに長くはないぞ、自分に楽しいことをやろう。そして自分の人生を少しでも納得いくものにしよう。



いうまでもなく、元気なうちに連れ合いと旅行、映画等も大いに楽しもうと思う。しかしそうなのだけれども、自分の生活を楽しむために守り、主張し更なる快樂へとなるべく尽力することは善良なる人生と言えるのだろうか。まだまだ社会の一員でありたい。まずは町内会の清掃活動に参加しよう。そして家の前の街路樹(生け垣)のススキ等の雑草を抜いて、肥料をやろう。家の前を通る児童、生徒をそれなりに見守ろう。私でもやれることに参加しようと思う。

現代社会は物品に満ちている。自由に満ちている。自己主張に満ちている。しかしその犠牲として孤立している人々、行き先を失って自殺に至る人々が8万人を超えている現状がある。病んでいる社会に私に何が出来るのだろうか。本当は何も出来ないだろう。しかし格差問題、環境問題等への参加、主張、行動は私のような微力な力が多数集まることに因つてのみ前進するのではないだろうか。関心を失わないでおこう。少しでも社会を良くする為に、住みよい社会にする為に、それは生かして貰った社会に対する市民としての一種義務のように思う。

学校という職場、地域の皆様そして私と係わった児童生徒のお陰で定年を迎えることが出来そうです。感謝、感謝です。

大事協の皆様、お世話になりました。有り難う御座いました。

そしてさようなら。



原稿を寄せていただいた2名の先生方、  
ありがとうございました。

今年定年退職を迎える先生方、  
長い間お疲れ様でした。

ありがとうございました。

これからの第二の人生、  
楽しんでください。

私たちのこれからも  
見守っててください。



○大事協は次のような意義のもと  
設立・活動しています○

○御確認をお願いします○

<協会設立の基本理念に則り、  
更なる発展を目指して活動する。>

- ①大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪(わ)」=会を設立する。  
※情報交換の場として(地理的条件の克服)
- ②当分の間は、地区内の緩やかな繋がりを持つ会として。
- ③「資質向上」につながる会として。
- ④今後の大島地区内における「学校事務」について考える場  
意見交換の場として。
- ⑤実務面での研修を補うものとして。

○編集後記○

今年度も残すところわずかになって参りました。「大事協だより」もみなさまの支えのもと、発行を続けていくことができました。ありがとうございました。年度末・年度始めにおいて、いろいろな思いがあると思います。体調には気をつけて、乗り越えていきましょう。来年度もよろしくお願いします。

